コンクリート強度測定 計測結果

物件番号	0	検査名	●●様邸中古住宅	築年数	15年
検査実施日	2018　年　4　月　1　日	検査員名	福井	天　候	晴れ

計測箇所				①			②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
No.	階	位置	部位	各ポイント計測値			平均値	補正値	基準反発度	材齢補正	推定圧縮強度	判定強度	判定
							R	△R	Ro	α	F(N/mm^2)	Fo(N/mm^2)	
1	1階	LDK 東側	基礎	42	45	43	44	3	47	0.6	25.9	21	○
				43	44	45							
				42	45	45							
2	1階	和室 西側	基礎	40	43	42	40	3	43	0.6	24.1	21	○
				39	38	41							
				35	40	39							
3	1階	洗面所 南側	基礎	39	41	37	37	3	40	0.6	22.9	21	○
				38	40	35							
				36	39	32							

■記入要領

①	各ポイント計測値	9ポイントの計測値を記入する。 ※各計測値が平均値の±20%以上になる場合は、外れた数値を削除し、削除した数だけ追加計測する。
②	平均値：R	①の平均値 ※四捨五入によって有効数値2桁に丸める。
③	補正値：△R	・コンクリート表面が乾燥している場合　：△R＝0 ・コンクリート表面が湿っていて打撃点が黒くなる場合　：△R＝＋3 ・コンクリート表面が濡れている場合　：△R＝＋5
④	基準反発度：Ro	Ro ＝ R ＋ △R
⑤	材齢補正：α	材齢n(日) 10 20 28 50 100 150 α 1.2 1.04 1 0.98 0.95 0.91 材齢n(日) 200 300 500 1000 1000超 α 0.86 0.78 0.7 0.63 0.6 (DIN 1048より)
⑥	推定圧縮強度 :F(N/mm2)	F(N/mm^2)＝(0.71Ro＋9.8)×α　・・・【日本建築学会 推定式による算定】 ※小数点2位以下は切捨て
⑦	判定強度 :Fo(N/mm2)	設計図書に記載の設計基準強度 設計図書に記載がない場合は 21N/mm^2
⑧	判 定	推定圧縮強度 F ≧ 判定強度Fo の場合：「○」 〃　＜　〃　の場合：「×」